厚生文教常任委員会会議録

１　日　　時　　平成３１年３月１２日（火）
　　　　　　　　　　１３時２２分開会　　１３時４３分閉会

２　会議場所　　役場３階第２委員会室

３　出席議員　　委員長：髙橋政悦　副委員長：中河つる子
　　　　　　　　委　員：川上　均・鈴木孝寿・西山輝和・中島里司

４　事 務 局　　事務局長：佐藤秀美、主任：鵜田瑞恵

５　説 明 員　　なし

６　議　　件

（１）所管事務調査の申し出について
（２）議会報告会と町民との意見交換会について
（３）その他

７　会議録　　　　別紙のとおり

委員長（髙橋政悦）：ただいまから厚生文教常任委員会を開催する。本日の議件については、所管事務調査の申し出についてと、議会報告会と町民との意見交換会についての２件であるのでよろしくお願いする。

（１）所管事務調査の申し出について

委員長　：早速、所管事務調査の申し出についてを議題とする。３月５日の委員会でも協議をしたが、６月定例会までの所管事務調査について、調査申し出事項を協議する。委員の皆様からぜひこの項目について調査をしたいということがあれば出していただきたい。

鈴木委員：先般のスクールバスの事故もあり、コミュニティバスの関係も全て委託業務で実施しているという認識をしている。福祉関係でタクシー助成もあり、交通関係の現状を確認したい。スクールバスの関係については、安全確認も含めて交通機関の関係の確認と調査をこの時期だからこそ実施してはいかがかと思うがいかがか。

委員長　：鈴木委員から意見が出された交通関係について、スクールバスの所管は教育委員会、コミュニティバスは企画課、タクシー助成は保健福祉課とばらばらであるので、できれば一つに絞ってもらったほうが調査はしやすいかと思うが。

鈴木委員：スクールバスと保健福祉課のタクシー、極論を言えばほとんどが一事業者で行っているので、所管に関連するところでやってはいかがかと思う。

委員長　：その他、意見があれば出していただきたい。

中島委員：文化センターが近代化されたような話なのでその状況と、まだ予算委員会で審査されていないが、文化センターの舞台装置等の運営について今の段階では臨時職員でやるような予算となっているよう。その２点について文化センターの現状を調査したいと思っている。

委員長　：中島委員から、文化センターの大規模改修に伴う内容の変更点等々と運用面について調査したいという意見があった。その内容であれば教育委員会が所管なので、スクールバスを含めて一緒に調査できる気がするがどのように取り計らうべきか皆様の意見をいただきたい。

川上委員：文化センターのほうは町長の話だと臨時職員でということで、来年度に全部工事が終わるので再来年度から全面的に委託をしたいとの話をちらっと聞いている。再来年度の運営をどうするかという部分は確かに分からない部分も多い。文化センターの運営の部分についてはしっかりと見ていかなければならないかなと思っている。

西山委員：この２つとも教育委員会の所管なので、よろしいかと思う。

中河委員：交通関係はいろいろな課にまたがっているが、教育委員会関係にまとめたほうがいいという感じはする。

委員長　：鈴木委員、文化センターの運営及び大規模改修に関する改善点等の調査とスクールバスに関する運行状況についての調査は、所管が教育委員会で一緒に行ってはという意見が大勢であるがいかがか。

鈴木委員：よろしいと思う。

委員長　：６月定例会までの所管事務調査については、「文化センターの改修状況と今後の運営について」と「スクールバスの運行について」とし、スクールバスについては今回の事故で新しいバスを購入しなければならないのか、その辺も含めて調査することでよろしいか。

（はいの声あり）

委員長　：所管事務調査申し出事項についてはそのような調査項目とする。また、突発的な事項に対応するため「その他所管に関する事項について」の申し出も行う。

（２）議会報告会と町民との意見交換会について

委員長　：議会報告会と町民との意見交換会のテーマについて、平成29年度からテーマを設けての意見交換を実施しており、平成31年度の開催に向けて議会運営委員会で協議した結果、総務

産業・厚生文教常任委員会からテーマを挙げてもらい、そのテーマに基づいて意見交換会を行うことになっている。当常任委員会から出すテーマについて協議願いたい。平成29年度は「災害時の対応と復旧等について」と「高齢者の運転免許証返納と交通対策について」、昨年度は「町議会議員の定数・報酬について」をテーマとした。今年度は何をテーマにしたらよいか委員各位の意見を頂戴したい。

鈴木委員：今までの開催状況を見ると基本的に同じ方によく来ていていただいている。来ていただいて大変ありがたいが、例えば、来るかどうかは別にして、若い子育て世代の方に関わるテーマ。子育て施策をハイレベルでやっているとの町の考え方があるが、どこにニーズがあるかというのと、今後子育て世代は何をしてほしいのかということについてをテーマとしては。若い人たちをできるだけ呼び込むというかたちの中で、清水町の未来の子育てのようなかたちで意見交換しても面白いのかなと。今までとは違う発想だけれどもそういうことをやったら面白いのかなと。いろいろな意見をいただく中で福祉というテーマでもよいが、若い世代が来づらいだろうと思う。そういうテーマにすると声をかけやすくなるのかなと。それと一般の方も、昔はこうだったという話を含めてそういう意見交換会でもあってもいいのかなと。よくあるパターンとして侃侃諤諤と議員が叱られるというケースが多いので、建設的な意見をもらうためには若い人たち向けのテーマで、年配の人も参加できるようにしたら面白いのかなとひらめいたところ。

委員長　：鈴木委員から、ざっくり言うと「清水町の未来の子育てについて」というテーマで、子育て世代を含め、年配の方、あるいは育てられている方の意見もありだと思うが、それらの意見を聴取して、将来の子育てに寄与していこうというのもありかと思う。そのほかの意見があるか。

中島委員：子育てについて漠然と意見を聞くのか、もう少し絞るのかは別にして、実際にやってみないとわからないが、少子化対策は行政でいろいろやっているが、直接生の声を聞かせていただければ、議会での我々の発言もしやすくなるのかなということで、ぜひそのへんのテーマでよろしいのではないか。あとは、テーマを広げた方が意見をもらえるのか、それとも絞ってやったほうがいいのかその辺を決めればと思う。

委員長　：中島委員から、鈴木委員の意見に賛同だが、中身を絞ったほうがよいのか、広くしたほうがよいかについて検討してはいう意見があった。このテーマについては、意見を受けたあとの対応はすべてこの委員会にかかってくる。テーマを広げたほうが多くの意見、情報が得られると思う。実際困っていること等何でも言ってもらえればいい意味で出てくるかもしれない。子育て関するテーマで行うこととした場合そのテーマの範囲をどうするか、若しくは他のテーマのほうがよいという意見があれば頂戴したい。

川上委員：子育てについて今回初めてやるテーマであれば、まずはちょっと範囲を広げて多様な意見を聞いて、後々絞りながらやっていくも一つのやり方かなと思う。どれぐらい意見が出て来るかは分からないが、まず最初に多様な意見をいただいてからのほうがよいと思う。

委員長　：川上委員より範囲を狭めずに広い範囲でやってはという意見があったがどうか。

中河委員：意見交換会は年に１回か。

委員長　：年に１回、２日連続で清水と御影会場で行う。

中河委員：多様な意見を聞いたとしても聞きっぱなしになるのか。

委員長　：出た意見についてはその後持ち帰って、項目ごとに対応について委員会で検討する。執行側に申し入れる必要があるものは申し入れ、委員会の中で決定ができて報告できることはまとめたあとに広報に載せている。

中河委員：今、いろいろな子ども達に関する問題、小さいお子さんへの虐待などいろいろある。清水町でそういうことがあるかどうかはわからないが、いろいろ困っていることなど、多様な意見の中から出てくれば、そういうことを拾っていければいい。

委員長　：中河委員は、広い範囲で意見聴取してということでよろしいか。

中河委員：そう。

西山委員：絞らないで一緒にどんどんいろいろな意見を聞いたほうがよいと思う。

委員長　：皆様からいろいろな意見をいただいた。テーマについては、「清水町の未来の子育てについて」でよろしいか。範囲は狭めず、自由に希望であったり、意見であったり、困りごとで

あったり、全部出してもらって、その後、委員会でいろいろと策を練るという段取りでよろしいか。

（よろしいの声あり）

委員長　：そのように決定する。

（３）その他

委員長　：　その他について委員の皆様から何かあるか。

（ありませんの声あり）

委員長　：以上で、厚生文教常任委員会を閉じる。大変ご苦労様です。